

糸魚川地域第2種社会福祉法人理事長会と

糸魚川市議会との意見交換会 次第

日 時 令和2年2月7日（金）

午後4時～

場 所 能生生涯学習センター

1 開 会

2 あいさつ

- ・糸魚川市議会議長 中村 実
- ・糸魚川地域第2種社会福祉法人理事長会 会長 橋立 新一郎

3 案 件

私立保育園の現状と課題について

（1）私立保育園への支援について

（2）公立保育園の民営化について

4 閉 会

意見交換会出席者名簿

※議会（総務文教常任委員会）

No.	職名	氏名	備考
1	委員長	笠原 幸江	
2	副委員長	佐藤 孝	
3	委員	東野 恭行	
4	委員	山本 剛	
5	委員	保坂 悟	
6	委員	高澤 公	
7	議長	中村 実	
8	委員外議員	吉川 慶一	
9	委員外議員	田中 立一	
10	委員外議員	渡辺 重雄	
11	委員外議員	吉岡 静夫	

随 行 議会事務局 局長 松木 靖
 議会事務局 係長 上野 一樹

※私立保育園

No.	保育所名	理事長名	園長名	備考
1	筒石保育園	長崎 智潤	(長崎 智潤)	
2	川崎保育園	池亀 郁雄	山田 貴子	
3	汐路保育園	中村 勝男	老野生 純子	
4	能生保育園	中村 浩(欠席)	老野生 一義(欠席)	事務長出席 老野生 倫子
5	いずみ保育園	清水 博	比後 和泉(欠席)	
6	木浦保育園	川又 進	楠田 優子	
7	おひさま保育園	橋立 新一郎	山本 裕美	
8	はやかわ保育園	相澤 賢	下越 厚子(欠席)	
9	いくみ保育園	丸田 龍也	(丸田 龍也)	

糸魚川地域第2種社会福祉法人理事長会との意見交換会について（報告）

糸魚川市議会総務文教常任委員会

期 日：令和2年2月7日 16時から17時39分まで

会 場：能生生涯学習センター

出席者：別紙出席者名簿のとおり

記 録（概要）

あいさつ

中村議長

本日の意見交換会は議会基本条例に基づき、今回のような市民団体からの要望により意見交換会を行うものであり、今日は保育園ということなので総務文教常任委員会委員から出席をさせていただいた。

本日は皆様方から私立保育園の現状をお聞かせいただくとともに、日ごろの考えもお聞きできればなと思っています。

議員、委員会としても、行政とは違い、いろいろと意見、要望をいただいても、予算的なことは決定権がないので、やりますという話はなかなかできないところではあるが、お答えできる部分は精一杯皆様方にお伝えをしたいと思います。

また今日答えられないことは、議員1人ずつ持ち帰り、今後の委員会、一般質問で行政に問いただして、市政の施策として反映させていければと思っている。

橋立理事長

第2種社会福祉法人の中の保育園について、今日は9園いるが、もう1件地域型という形で1つ保育園がある（ひまわり保育園）。

いろんな保育園、子供たちの健全な育成を目指しながら、施設長を初めとして職員が一生懸命頑張っている。

特に理事会としては、いかに保育をできる環境をそろえていくかというのが使命かと思っている。

今回、いろいろと皆さんにお願いをすとか、意見を伺う場を数多くやりたいと思っているが、各園の活動とか行事等を話しつつ、意見を進めていきたいと考える。

笠原委員長

今回の意見交換会の目的は、私立保育園の皆様から現状を聞かせていただき、情報共有を図るもの。皆様の率直なお考えを聞く中で意見交換会ができればと思う。

議会代表として、本日は総務文教常任委員会委員の6名と、委員外議員4名出席している。

委員の中でもそれぞれ保育園に関する考え方が違うかと思うが、この場で何か結論を出すというのではなく、今後の議員の、政策立案、行政への提言、委員会での調査につながるものになればよいと考える。

議 題

私立保育園の現状と課題について

(1) 私立保育園への支援について

理事長会

70～20 名で運営をやっているが、国が打ち出してきている保育士処遇改善について、3 年位前からいろいろ取り組んでいるが、まだ各園独自の取り組みであり、国の施策に基づいてやっている園は数多くない。

全般に見て、それに近い形で国の支援を受けてるところは、おひさま保育園と能生保育園になるかと思う。こども園にした関係で充実してきた。

市の補助事業は全体で 23 項目ぐらいあり、各園が項目を選びながら支援を受けている。

各園から地域交流を含め話してもらう。

筒石保育園

23 項目の事業の取組は特にしていない。

地域に磯部小学校があり、子どもと一緒に地引網を引いて交流を行っている。

また、卒園した小学生に来てもらい、学校の様子を聞いたり、子どもと遊んでお昼を食べて帰るということで、特に小学校との交流をメインでしている

その他家庭との交流では、おじいちゃん、おばあちゃんにも年 2 回来ていただいて交流をしている。

川崎保育園

補助事業としては障害児保育を申請している。

地域交流では藤崎、百川、大洞の 3 地区での敬老会に参加し、リズム、民謡、糸魚川小唄、能生甚句等を披露している。

園児も少ないため、運動会、発表会、夏祭りは地域の力を借りないとなかなか盛り上がらないこともあり、地区回覧でお知らせし、一緒に楽しんでいただく活動をしている。

また、地引網や、卒園児を招いての繭玉作り、年賀状作り等の活動をしている。

汐路保育園

未満児保育、障害児保育、学童保育を行っている。

学童保育は、マリンドリームに従事している人が多く、子供を預けたいという状況の方が多のかなと思っており、園児より多く来ることもある。

地域交流として、港まつりとこども神輿と一緒にさせていただいて、漁船に乗せていただいたり、おさかな教室に呼んでいただいたり、いろいろやっている。

みんなが顔見知りの場所なので、どこへ行っても声かけてくださって、楽しく過ごしている。

現状として来年度 10 名を切るので、いろいろ考えている。

能生保育園

未満児保育、延長保育、一時保育をしている。

地域交流としては、磯部小学校との地引網体験、海洋高校との交流、能生中学校との交流をしている。

ゆめいっぱい体験保育事業の活動として、糸魚川駅で園児によるジオサイト PR 作戦をし、新幹線乗車体験等をし、地域活性化に参加させていただけたかなと思っている。

いずみ保育園

年 2 回卒園児に来てもらい、在園児と交流を深めている。

夏祭り、体育祭に呼んでもらい、遊戯を披露している。

また、地域との補助事業で、子供たちがなかなか外で遊べないということもあり、年 4 回実施している。今日もシャルマンで雪遊びをした。夏には親御さんも一緒に海での遊びや川の遊びをしている。

おひさま保育園

ことしで 7 年目を迎える。今年度よりこども園に移行した。

未満児保育、一時保育、学童保育、地域交流、ゆめいっぱい体験活動事業を実施している。

未満児保育について、新潟県から 1 歳児 3 : 1 の補助金がでている。今後どうなるのかが 1 番大きい心配・課題。

一時保育は今時点で延べ 88 名の利用がある。

通園バスも市補助をいただいている。利用人数は少ないが、面積が広いので 2 台運行している。

ゆめいっぱい体験活動事業について、地域に住んでいる様々な分野の専門の方に来ていただき、いろんな対応をさせていただくということで取り組んでいる。

地域交流としては、皆さんおっしゃられたように、地域の小学校との交流が主とな

っている。

また、地域の老人クラブとの交流会を実施している。

木浦保育園

定員 20 名という小さな保育園。

地域の子が 6 名、能生地域が 11 名、糸魚川地域が 4 名と広範囲に子がいる。

未満児保育、障害児保育、延長保育、また、園独自で一時預かり事業を行っている。

課題として、木浦小学校の人数が減っており、学童保育も人数が減っている。親御さんの気持ちは理解するので、少なくともも行っている。

地域交流は、地区、学校合同の運動会があり、参加している。また、文化祭・芸能祭にも参加している。卒園児との交流も行っている。相撲大会も伝統的に行っている。

はやかわ保育園

公民館事業の運動会、敬老会、文化祭があるが、参加している。

また、地元の農協の指導で、スイカづくりをしている

地区で公の施設は保育園と小学校しかないので、地域の皆さんは関心を持っている。

いくみ保育園

1 期生が 72 才。三代にわたって通っている方が何組かいる。

都会と糸魚川市の事情は全然違う。

未満児保育事業について、有資格者の確保が難しくなっている。保育専門学校に行っても帰ってこないという現状がある。

障害児保育事業について、親御さんの理解が難しい面もある。

委員

未満児保育事業は危うい状況なのか。

理事長会

県が 2 月 12 日には発表すると聞いている。

今、予定して職員を確保しているが、職員確保した段階で補助金を受けられないと、まるっきし園の負担になる。

理事長会

公立保育園は、1 歳児に関して 4.5 人に 1 人でやっている。

有資格者確保は、定年者も含め探している。

産休明けすぐから働く人が増えている。最近は 0 歳児から来ている。

気になる子は昔から比べると多く感じる。

理事長会

子供は施設的には受け入れることができる。
保育士の確保がとにかく課題。

委員

問題を全国で共有するような場はあるのか。

理事長会

私立保育園連盟というのはある。働きかけも行っている。

委員

保育士は、給料が上がれば確保できるか。

そうではなく、いろんな社会背景があって、ここにとどまってもらうこと自体が難しいのか。

理事長会

都会だと手当等が充実している。地元に戻ってきたいという意思がある方はいいが、現状としては課題になっていると思う。

公立と私立では給料が全然違う。糸魚川市でも差がある。都会では、保育士の宿舎対応や住宅手当等がある。

委員

保育士の処遇改善という点が、糸魚川市は制度が整っていないということか。

理事長会

少しでも補助金をたくさんいただき、充足させていただきたいと思う。保育園の運営費は、80～85%が人件費。人を確保するには処遇改善が1番と感じる。

保育園で使ってる給与は、公定価格(国が定めた費用の単価)の中で支払っていく。

国では休日保育や延長保育の実施について指示が出るが、公定価格は毎年そんなに上がってこない。

(2) 公立保育園の民営化について

理事長会

私立保育園はこども園化ができる。公立保育園はなれない。

公立保育園を民営化してこども園化すると、国の補助金がついてくるし、市の予算措置もかなり減ってくる。東、中央、やまのい保育園等を考えてみれば、人件費だけ

でも1園1億円以上は減ってくるのかと見ている。

また、保育サービス内容も公立保育園より私立保育園の方がサービスが行き届いてると感じている。

反対の方もいるが、そういったことを考えると民営化を推進した方がよりよい保育サービスができ、既存の法人、あるいは新しい法人ができたとしても、長期間の保育園運営が可能になり、職員の交流もできるという気持ちでいる。

上越市、柏崎市、長岡市等近隣の市の状況を調べると、糸魚川市は方向性は持っているが、どのように具体化して行くという案がない。

上越市はこの春から2園民営化になり、その後1年ごとに3園ほど民営化していく。柏崎、長岡もそういった方向で進んでいる。

妙高市は私立保育園は1園しかないので、そこはもう、そういったことは全然うたっていない。

糸魚川市で公立保育園は今9園あるが、適正配置も考えながら民営化の方向を探っていただければありがたいと思っている。

理事長会

議員に公立をどうしたいのかというのを聞きたいのが正直なところ。

職員も、休み等があって公立がいいというのはある。私のところは土曜も7時から19時までやっている。保育士の数は不足ぎみ。処遇改善が必要。

理事長会

公立保育園の正職員は30%ぐらいしかいない。ほとんど臨時、パートの方であり、それで公立でやっていく必要があるのかとも思う。

委員

新年度から会計年度任用職員というのを始める。本当は同一労働、同一賃金を目指して始めると思ったが、待遇がよくなるかと言ったらどうもそうではなく、毎月の報酬を下げてそれを期末手当に分けてやるという形。

本来なら、民営のほうも公立のほうへ近づけるよう、保育士の処遇を上げるような形を作れば一番いいが、なかなかそうはいかない。そこが問題だと思う。

私は教育に準じ、保育も公的な形でやるべきと思う。結局は民営と公営といろんな格差をつけて、民営保育園の保育士不足につながったのではないかと思う。

委員

どこの分野においても、民営化すればサービスが向上するというのが一般論。サービスを向上させるためには、公営と民営がお互い歩み寄っていい方向を見つけなければ

ばいけない。

委員

合併前、青海町は全部正職員でやっていた。それから役場に転勤になっていた。幼稚園の先生が役場で何できるんだという話が出た覚えがある。

合併した時に、だんだん変わってきていると思うが、民営化の方向に行かざるを得ないんだろうなあと思う。どうやってやるかが一番の問題。

委員

上越市は民営化が進んでいるとお聞きした。よくなった状況というのを教えていただきたい。

理事長会

そこまで聞いていない。名立は公立、私立それぞれあったが、新年度から私立一つになる。

委員

私立で独特の特徴を出していくような構想は皆さんの中にあるものか。

働くから預けるという価値観から変わってきていると思う。

特徴があれば、選択が可能になると思う。それとも地域中心で考えるべきなのか。

理事長会

大きくはないが、各園それぞれ売りはある。

希望する園があれば、それは受け入れると思う。

遠方からも受け入れるとなると、こども園化となると思う。

委員

子どもをどこの園に預けるかは親が決める。

園もいろんな特徴があるから、親をどう満足させるかにかかってくると思う。

委員

民営化しても行政の応援等は必要。

理事長会

各補助事業等の基準等は必要。

また、少子化でどの園も尻すぼみになっている。学校も複式となっている現状がある。我々は我々で考えるが、方向性は行政、議員も考えてもらいたい。

委員

子どもの数を増やすには、何が足りないのか。どのように感じているか。

理事長会

一人っ子はほとんどいない。多いと6人兄弟とかもいる。

子どもを産み育てる年代が少ない。一夫婦では子どもは3人から4人いると感じる。

理事長会

根本的に人口が減っている。

都会に行った人を戻ってきたいと思わせる糸魚川市を作らなければいけない。しかし、糸魚川駅は日本で一番集客率が低い新幹線駅となっているらしい。そこをどうするかだと個人的には考える。

保育も同様と考える。民営化が上越で動き出しても、糸魚川市では意見も出ていないとか、そういうものは全てに通じている問題。

民営と公立の保育士格差も問題。理不尽なものを感じる。

いろんなことを外に向けてやらないと、新しい人が入ってこない、戻ってこないと感じる。保育だけではなく、上の方がどうお金を使うか考えれば、自然と変わっていくのではないかと考える。

委員

糸魚川市は、一人当たり市民所得が全国と比べて随分低い。わざわざ都会からきてまでと考えると、なかなかいないと考える。

本来で言えば私立の保育士の給料が上がるような仕組みを作った方が一番いいと思う。そこら辺を市で頑張ってもらわないと思う。

理事長会

こども園化の一番の理由は運営費の違い。今後保育士処遇を上げるためにも、こども園化していくのは正しいと思う。

笠原委員長

本日いただいた意見から今後の保育施策に生かせるよう、政策など反映できないか、市議会としてはもちろん、各議員個人でも研究していきたいと思う。

また第2弾も考えていただけるかなとも思っておりますので、本日は貴重な時間をいただきまして、ありがとうございました。

以上